

Windows XPでの使用および Windows Meでのフォルダ名の変更について

USB-PM560をお買い上げいただきありがとうございます。

本書では、USB-PM560をWindows XPおよびWindows Meでご利用になる場合の手順について説明します。

**まず、弊社ホームページ上から最新のサポートソフトを入手してください。※詳細は弊社ホームページをご覧ください。
サポートソフトを入手後、本書をご覧ください。**

本書では、以下の①、②について説明します。

①Windows XPへの対応 → 次ページ参照

サポートソフトのバージョンアップにより、本製品をWindows XPでご使用いただけるようになりました。

※ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional および
Microsoft® Windows® XP Home Edition の略称として表記しています。

②Windows Me用フォルダの変更 → 26ページ参照

サポートソフトのバージョンアップにより、Windows Meでインストールする際に指定するフォルダ名が変更になりました。

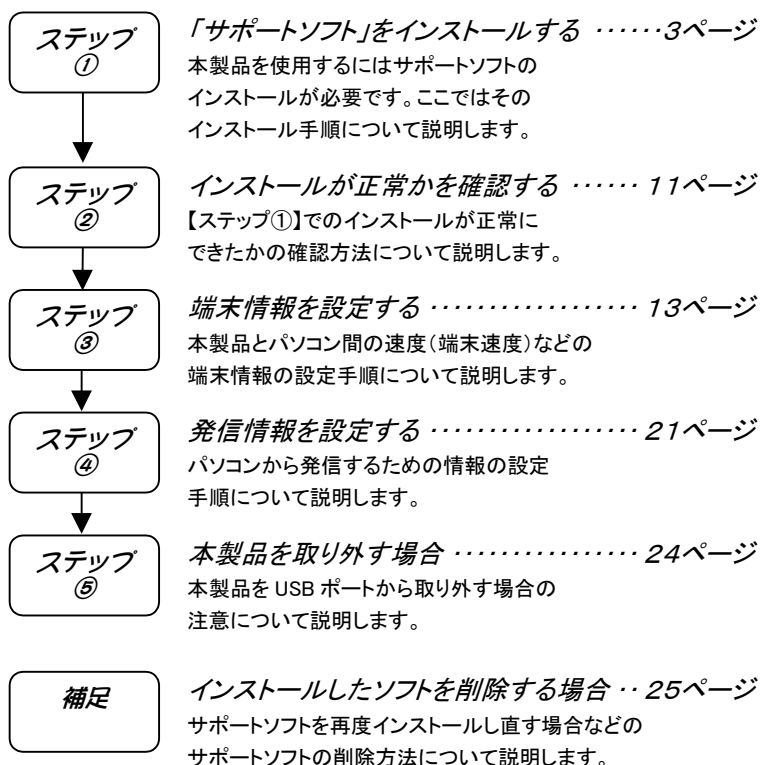
インストール時に指定するフォルダ名は、ダウンロードしたファイルを展開したフォルダの[WinMe]フォルダを指定してください。

Windows XPで 使用するには

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。

以下の流れに沿ってお進みください。



ステップ①:「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、ダウンロードした最新の「サポートソフト」(USB-PM560 Windows XP 用ソフトウェア)をパソコン上で展開後、さらにパソコンにインストールする必要があります。

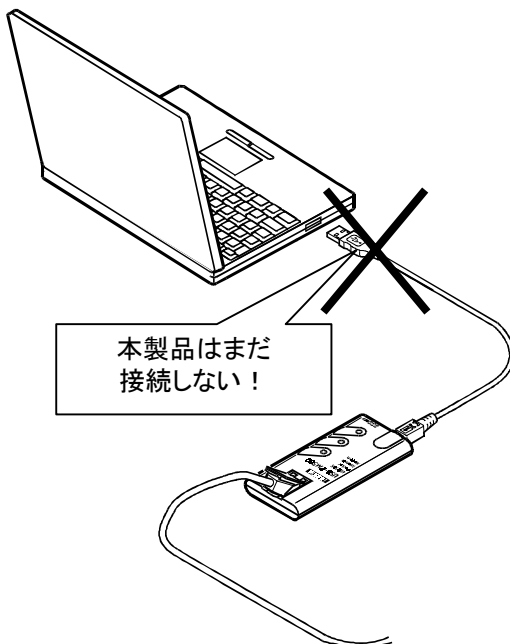
ここでは、そのインストール手順について説明します。

インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

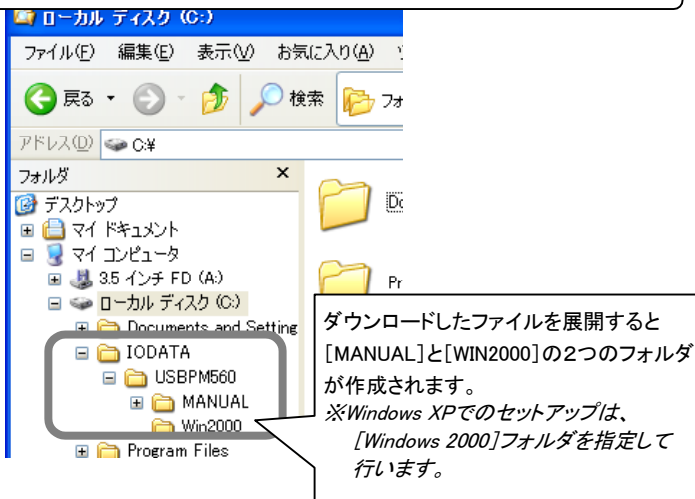


インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品をパソコンに接続します。
ダウンロード後、本製品を接続しますので、ここではまだ接続しないでください。



- 1** Windows XP上でダウンロードしたファイルを展開します。
以下の例は、[IODATA]下の[USBPM560]フォルダにファイルを展開した例です。

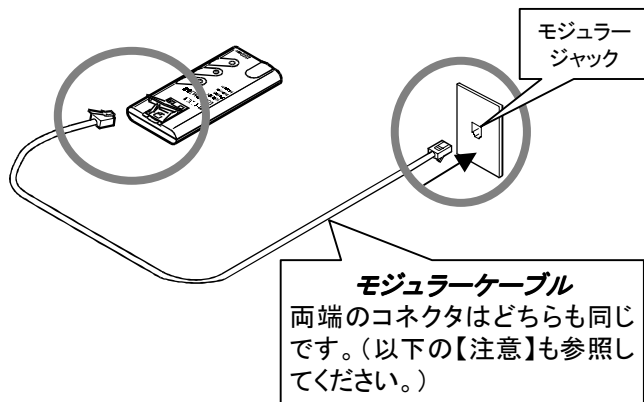
ダウンロードしたファイルを[IODATA]→[USBPM560]フォルダに展開した例



- 2** 本製品のモジュラーコネクタのふたを開け、
添付のモジュラーケーブルで、電話回線(モジュラージャック)と
本製品(モジュラーコネクタ)を接続します。

モジュラーケーブルを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き(裏表)を確認してください。最後まで差し込むとカチッと音がします。





モジュラーケーブルの設置場所や取り扱いには、以下の点にご注意ください。

- ・パソコンのディスプレイやテレビ、スピーカーなど電化製品の近くを通さないでください。
- ・ACアダプタの付近に通さないでください。
- ・1本の電話回線を分配機や切替機等で二股に分けないでください。(分けられた回線を本製品のLINE端子へ接続しないでください。)
- ・添付のモジュラーケーブル以外をご使用になる場合は、なるべく短いモジュラーケーブルを使用してください。(数十メートルのモジュラーケーブルは使用しないでください。)

V.90 通信は、電話回線の状況・品質に敏感です。

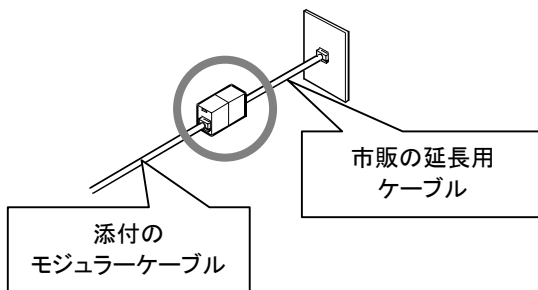
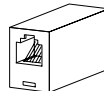
上記注意を守らないと、電話回線にノイズがのるなど、回線状況・品質の劣化につながる場合があります。



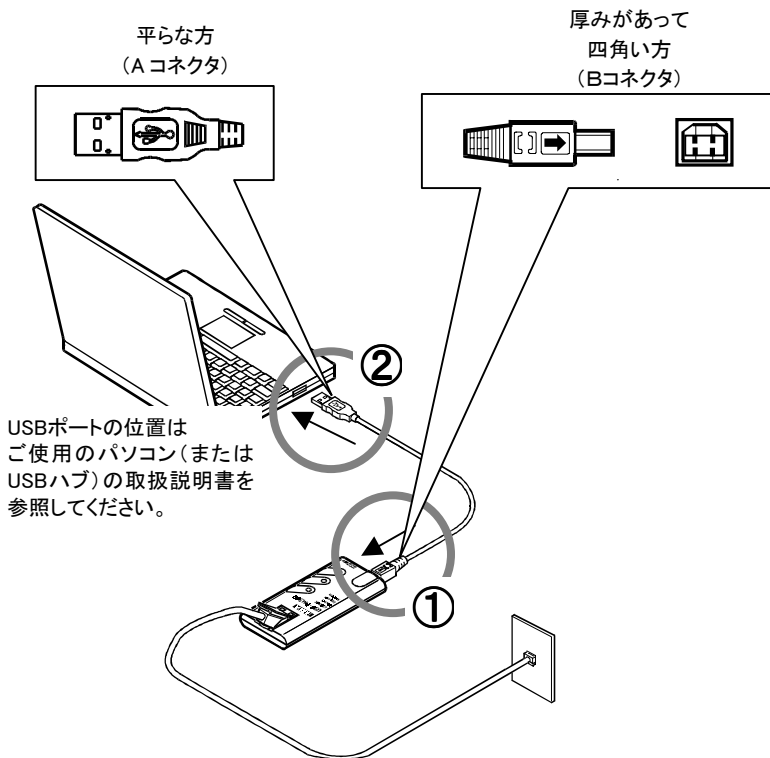
参考 1

電話回線のモジュラージャックが遠くて、添付のモジュラーケーブルだけでは届かない場合は、添付の RJ-11 中継コネクタをお使いください。

中継コネクタに、別途お買い求めの延長用ケーブルを差し、延長用ケーブルの RJ-11 コネクタを、電話回線に接続してください。

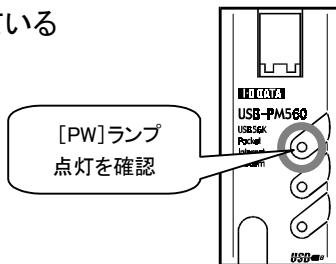


- 3 添付の USB ケーブルを本製品の USB コネクタに接続します。その後、パソコン(または USB ハブ)の USB コネクタに接続します。USBコネクタの奥までしっかりと差し込みます。USBケーブルの両端のコネクタは形状が違います。(AコネクタとBコネクタ) コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き(裏表)やコネクタの種類(Aコネクタ、Bコネクタ)を確認してください。最後までキチンと差し込むと、本製品のPWランプが点灯します。



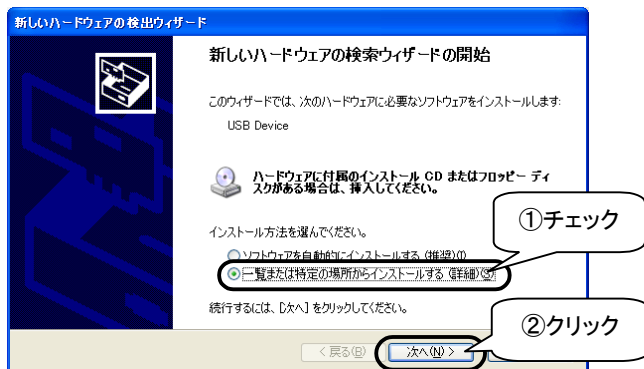
USB ハブに接続する場合は、必ず USB ハブに AC アダプタを付けて、電源を供給してください。

4 本製品の[PW]ランプが点灯していることを確認します。



5 しばらくすると、パソコンのディスプレイ上に以下の画面が表示されます。

[一覧または特定の場所からインストールする]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。



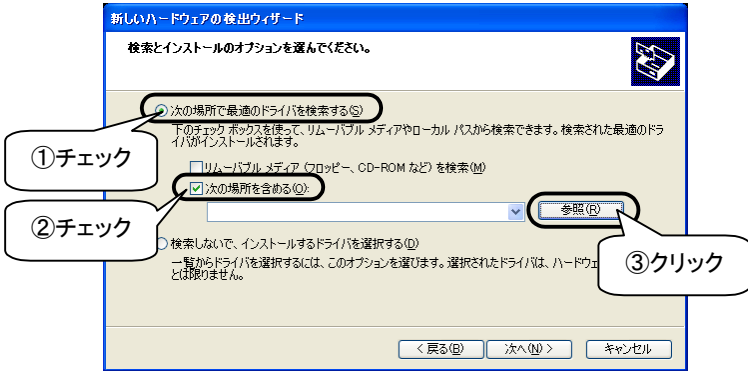
この画面が表示されない場合は

→本製品が正しく取り付けられていないことが考えられます。

- ・確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
- ・取り付けの USB ポートを変更してお試しください。
- ・12 ページ3 の手順にて[! USB Device]が、[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]、[その他のデバイス]あるいは[モデム]に組み込まれていないか確認し、あれば[! USB Device]の名称を右クリックし、[削除]を選択して削除してください。

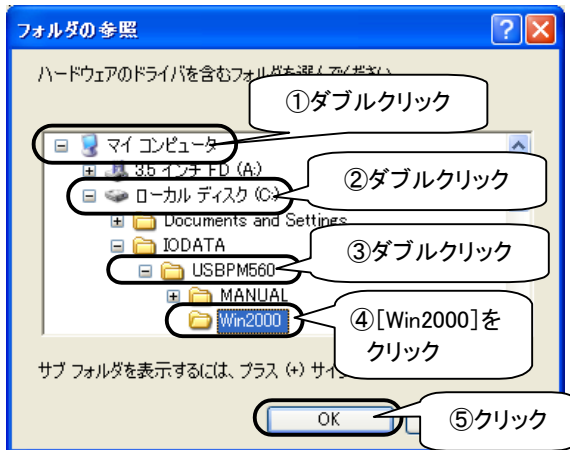
その後、USB ポートから本製品を一度取り外し、再度挿し直してください。

- 6 [次の場所で最適のドライバを検索する]をチェック後、
[次の場所を含める]のみをチェックして(その他の項目のチェックは
外してください)、[参照]ボタンをクリックします。

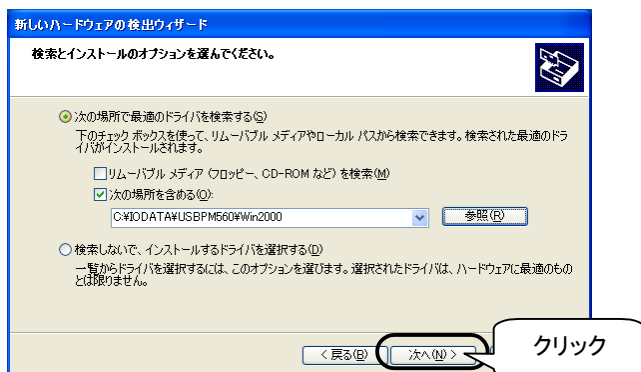


- 7 サポートソフトを展開したフォルダ内の [Win2000] をクリック後、
[OK] ボタンをクリックします。

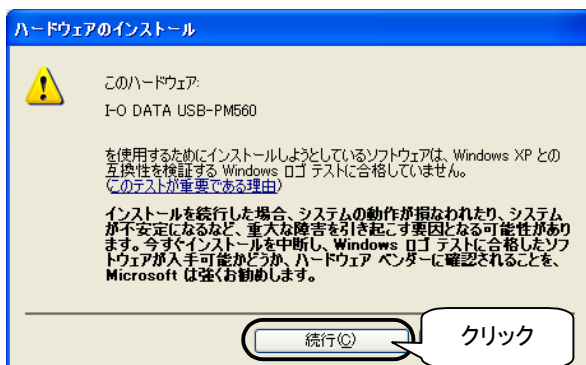
以下の画面例は、「サポートソフト」を、パソコンの「ローカルディスク(C)」内の
[IODATA]→[USBPM560]フォルダに展開した例です。
→[マイコンピュータ]、[ローカルディスク(C):]、[IODATA]、[USBPM560]を順に
ダブルクリック後 [Win2000]フォルダをクリックします。



8 [次へ]ボタンをクリックします。



9 [続行]ボタンをクリックします。 ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



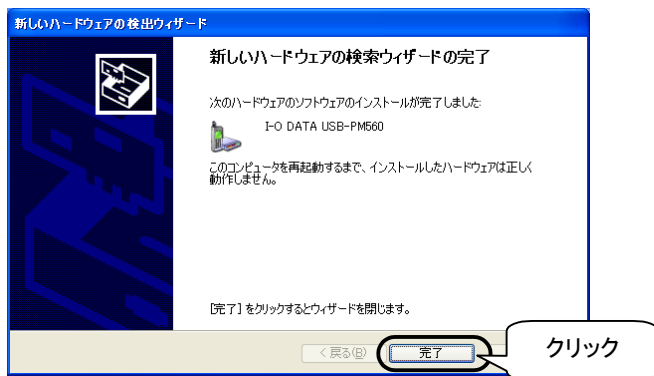
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

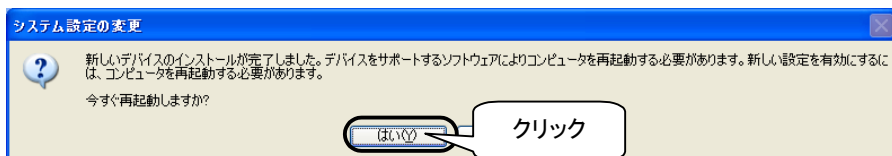
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

- 10** しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



- 11** [はい]ボタンをクリックして、本製品を接続したまま、
パソコンを再起動してください。



以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
Windows が再起動されましたら、次ページ【ステップ②】へお進みください。

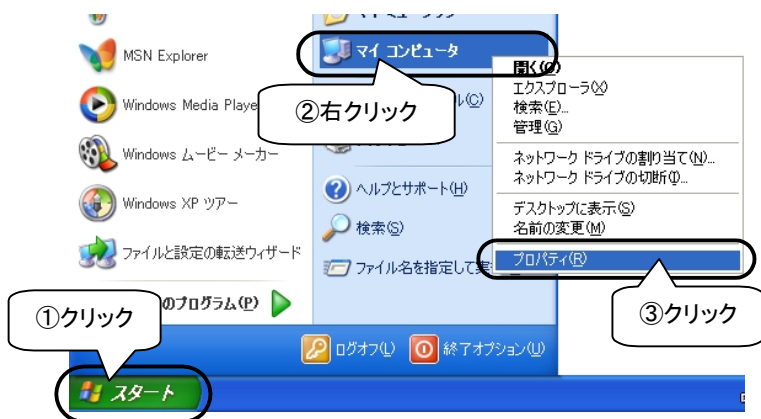
ステップ②: インストールが正常かを確認する

【ステップ①】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。

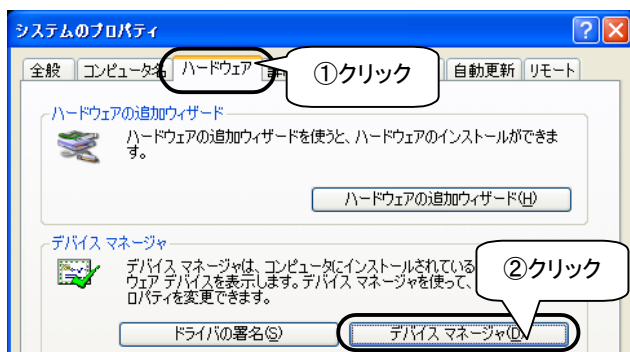
ここでは、「パソコンが本製品を正しく認識しているか」を Windows 上で確認します。

本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

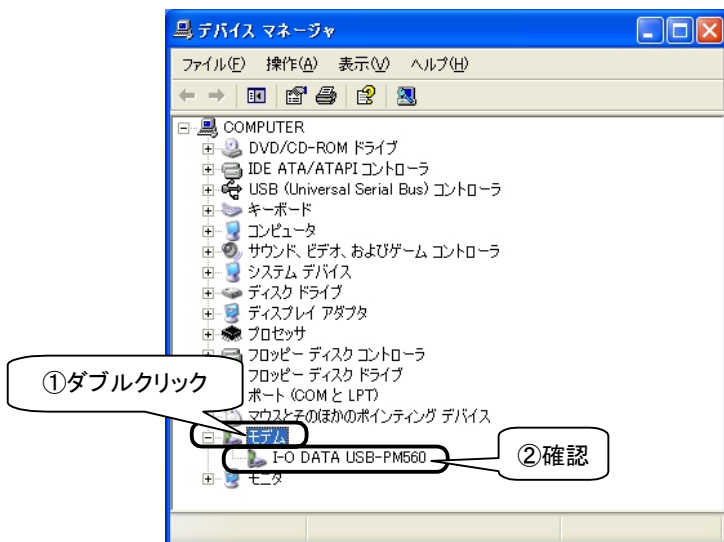
- 1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



- 2 [ハードウェア]タブをクリック後、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



- 3 [モデム]をダブルクリックして、[I-O DATA USB-PM560]が表示されていれば正常です。



- 4 画面右上の **X** ボタンをクリックして、画面を閉じます。
前ページ2の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末情報の設定と確認を行います。次ページへお進みください。

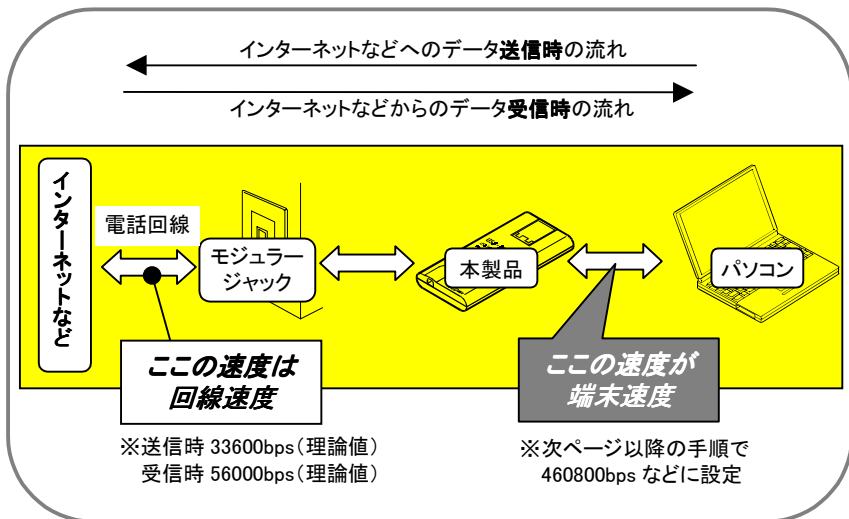
ステップ③: 端末情報を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度(端末速度)を設定します。

設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。

設定と確認は、Windows の[電話とモデムのオプション]アイコンで行います。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。



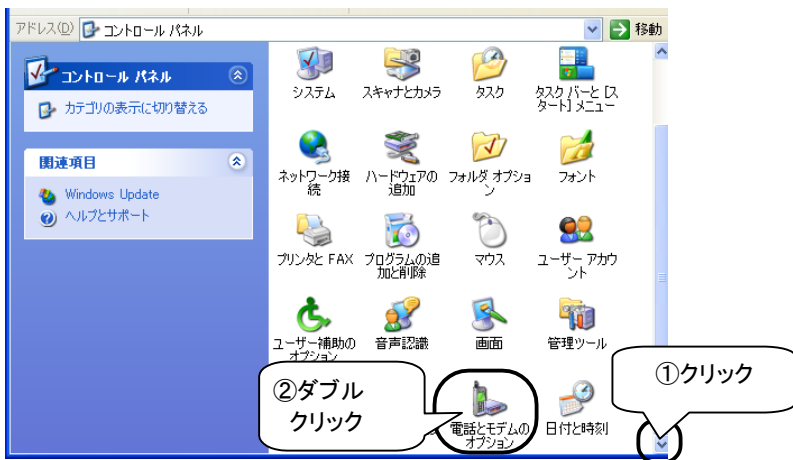
1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が“カテゴリ表示”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。



3 [電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

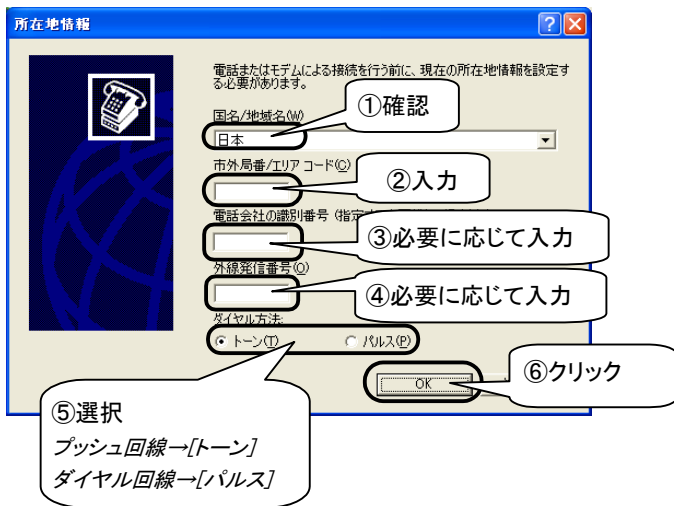


参考

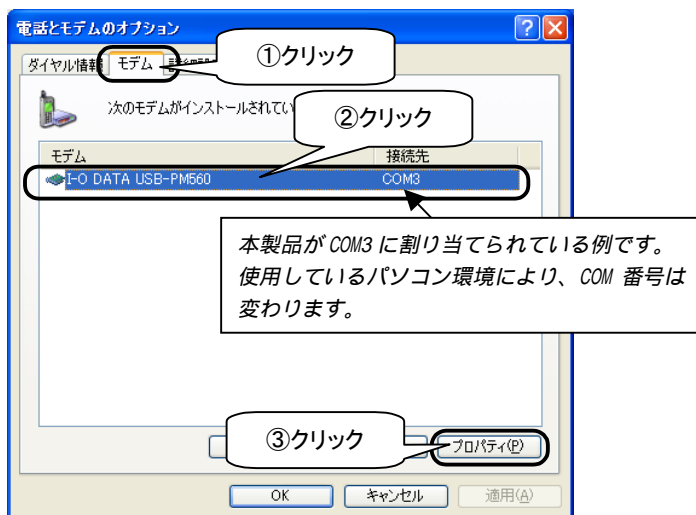
[電話とモデムのオプション]は[カテゴリ表示]からでも選択できます。
[カテゴリ表示]の場合は、[プリンタとその他のハードウェア]をクリック後、「コントロールパネルを選択します」の文字の下に[電話とモデムのオプション]があります。

- 4 以下の画面が表示された場合は、
必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	国名／地域名	「日本」であることを確認
②	市外局番／ エリアコード	ご使用になっている場所の市外局番を入力
③	電話会社の 識別番号	指定する必要がある場合に入力 ※詳細はご加入の電話会社にご確認ください。
④	外線発信番号	「0(ゼロ)発信」などの回線の場合に「0」(ゼロ)を入力
⑤	ダイヤル方法	電話回線に ・プッシュ回線をお使いの場合→[トーン]を選択 ・ダイヤル回線をお使いの場合→[パルス]を選択



- 5 [電話とモデムのオプション]画面で[モデム]タブをクリック後、
[I-O DATA USB-PM560]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



6 端末速度を設定します。 [モデム]タブで、[ポートの最高速度]を通信可能な一番速い速度(460800)に設定します。

※[ポートの最高速度]の選択肢には[921600]までありますが、
本製品が対応している最高速度は[460800]までです。

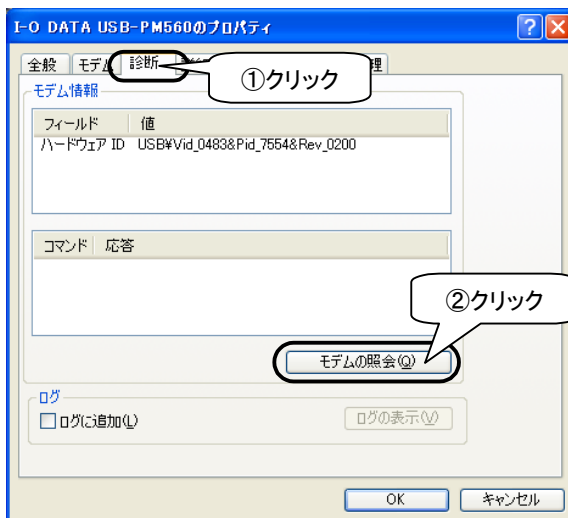


参考

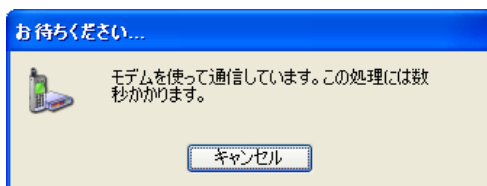
1. ご使用になるパソコンの種類によっては設定した速度で通信できない場合があります。その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。
2. ここで設定する速度は、端末速度(パソコンとモデム間の速度)です。

7 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[診断]タブをクリックして、
[モデムの照会]ボタンをクリックします。

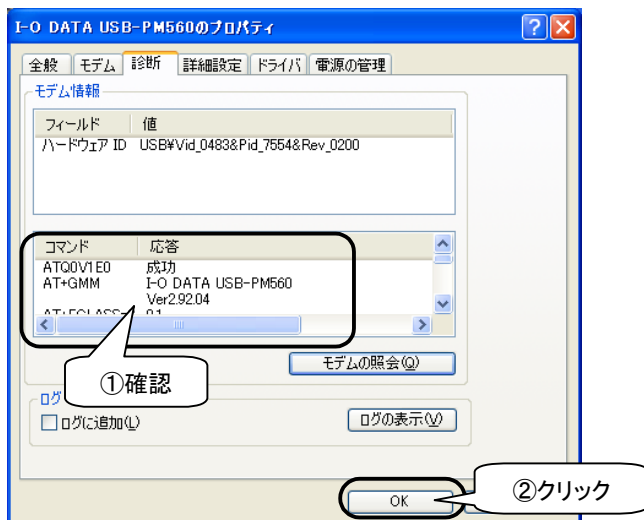


8 「お待ちください」と表示されます。
次ページ9 の手順の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



9 しばらくすると以下のように表示されます。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら正常です。



注意

- ・この通信テストはパソコンと本製品間の通信テストであり、電話機を介して通信するテストではありません。
- ・[応答]欄に[コマンドはサポートされていません]と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。次に次ページで発信情報を設定してください。

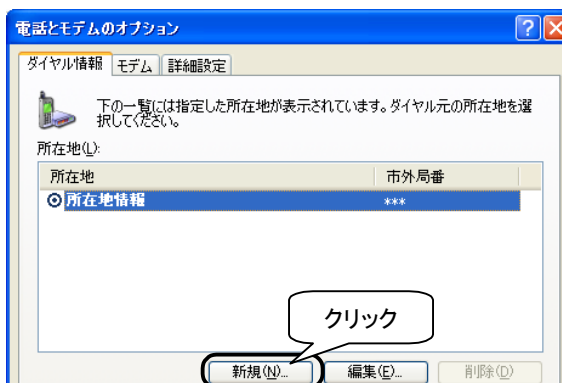
ステップ④: 発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報(発信情報)を設定しておく必要があります。

設定は、Windows の[電話とモデムのオプション]アイコンで行います。

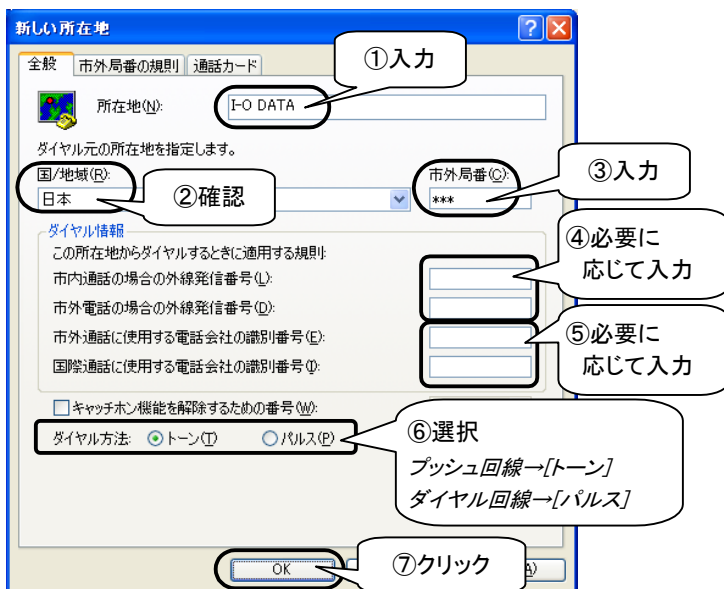
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

- 1 前ページからの画面で、[新規]ボタンをクリックします。
以前に発信するための設定(所在地)を登録したことがある場合は、次ページ2の手順へ進んでください。
(携帯電話やISDN回線用の所在地とは設定内容が異なります。
この場合は新しく所在地を追加してください。)



- 2 [全般]タブで必要な情報を設定して、
[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意の名称(お好きな名称)を入力
②	国/地域	「日本」であることを確認
③	市外局番	ご使用になっている場所の市外局番を入力
④	外線発信番号	「0(ゼロ)発信」などの回線の場合に「0(ゼロ)を入力 ※「キャッチホン機能を解除するための番号」チェックボックスには、チェックしないでください。
⑤	識別番号	必要に応じて入力 ※詳細はご加入の電話会社にご確認ください。
⑥	ダイヤル方法	電話回線に ・プッシュ回線をお使いの場合→[トーン]を選択 ・ダイヤル回線をお使いの場合→[パルス]を選択



- 3 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ⑤】(次ページ)を参照して、本製品の取り外し方を確認しておいてください。



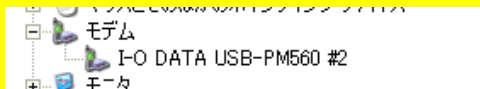
本製品を別の USB ポートに接続した場合…

本製品を最初にインストールを行った USB ポートとは別の USB ポートに接続すると再度、新しいハードウェアとして認識され、[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。

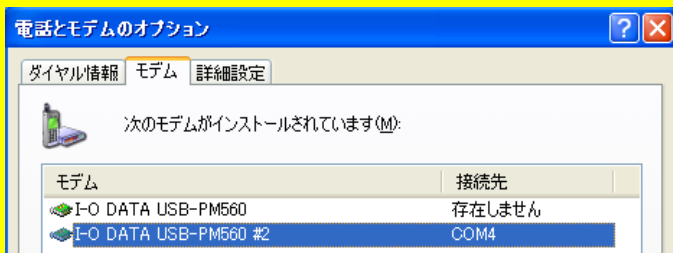
再度【ステップ①】(3ページ)の手順でインストールするか、最初にインストールした USB ポートで常に使用するようにしてください。

別の USB ポートでインストールした場合は、[デバイスマネージャ]画面(以下の表示例①)や[電話やモデムのオプション]画面(以下の表示例②)のようにモデム名が[I-O DATA USB-PM560#2]と変わったり、COM 番号が変わります。

《表示例①: デバイスマネージャ画面での[モデム]欄》



《表示例②: 電話とモデムのオプション画面での[モデム]タブ》



ステップ⑤:本製品を取り外す場合

本製品を使用しなくなった場合などに、パソコンの USB ポートから取り外すには、以下の方法があります。

- ・パソコンの電源を切った後に取り外す
- ・Windows XP を使用中に本製品の動作を終了して取り外す

Windows XP を使用中に取り外す際に、以下の本製品の動作を終了する手順を行わずに取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

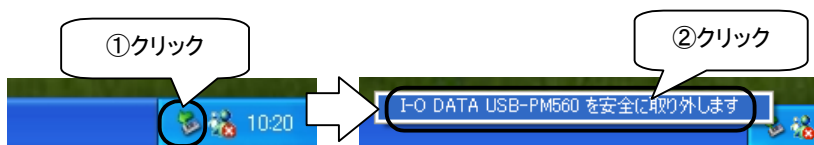
取り外す際には、本製品を使用していない(回線切断中である)事を確認した後、必ず以下の手順を行ってください。



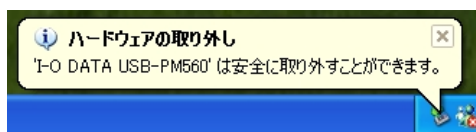
以下の動作の終了作業を行うと、実際に本製品を取り外さなくても、本製品は使えなくなります。再度使いたいときは、いったん本製品を USB ポートから取り外してから再び接続してください。

Windows XP 使用中に取り外す手順

- 1 ディスプレイ画面右下のタスクトレイにある[取り出し]アイコンをクリックし、[I-O DATA USB-PM560を安全に取り外します]をクリックします。



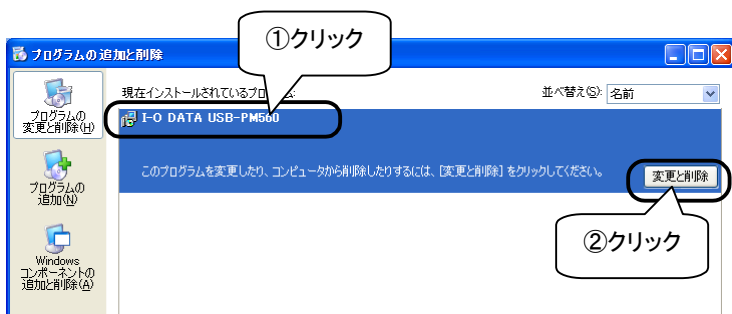
- 2 以下の画面が表示されますので、本製品をUSBポートから取り外してください。



補足：インストールしたソフトを削除する場合

本製品のサポートソフトのインストールをもう1度やり直すときは、インストールした「サポートソフト」を削除(アンインストール)してから行う必要があります。
ここでは、その削除方法(アンインストール方法)について説明します。

- 1 前ページ【ステップ⑤】の手順にて、本製品をUSBポートから取り外します。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]内の
[プログラムの変更と削除]を起動します。
- 3 [I-O DATA USB-PM560]をクリック後、[変更と削除]ボタンをクリックします。



- 4 後は画面の指示に従ってください。

以上で、Windows XPでのインストールしたサポートソフトの削除(アンインストール)は終了です。

Windows Meで 使用するには

サポートソフトのバージョンアップにより、Windows Meでインストールする際に指定するフォルダ名が変更されています。

以下のようにインストール時には、ダウンロードしたファイルを展開したフォルダ内の[WinMe]フォルダを指定してください。

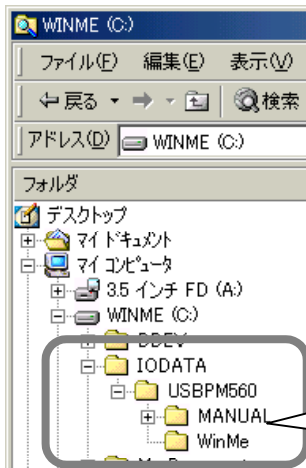
※その他インストール手順に関しては、取扱説明書の「Windows Meで使うには」の項を参照してください。

ダウンロードしたファイルを展開すると…

Windows Me上でダウンロードしたファイルを展開すると以下のフォルダが作成されます。

以下の例は[IODATA]下の[USBPM560]フォルダにファイルを展開した例です。

ダウンロードしたファイルを[IODATA]下の[USBPM560]フォルダに展開した例



ダウンロードしたファイルを展開すると
[MANUAL]と[WinMe]の2つのフォルダが
作成されます。

インストール時の指定フォルダについて

サポートソフトをインストールする際は、以下の手順のように展開したフォルダ内の[WinMe]フォルダを指定してください。

以下の画面例は、「サポートソフト」を、パソコンの「ハードディスク」内の[IODATA]→[USBPM560]フォルダに展開した例です。

インストール途中でのインストール元を指定する画面の例

